高等学校 令和6年度(1学年用)教科 芸術 科目 音楽 I

教 科: 芸術 科 目: 音楽 I 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 6組

教科担当者: (1組: 鳴島) (2組: 鳴島) (3組: 鳴島) (4組: 鳴島) (5組: 鳴島) (6組:鳴島)

使用教科書: (高校生の音楽 I (教育芸術社))

教科 芸術 の目標:

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
の関わり及び音楽の多様性について理解すると	とや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味 わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むととも に、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によっ て生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度 を養う。

				表現	₹						配
	題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	歌	器	倉	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
	音、身体の使い方などの技能を身に付ける。【技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ○旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する ○楽譜に書かれている記号や拍子を確認する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)	0				【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素やの関連を知覚し、それらの働きを感受しながち考え、の関連を知覚したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている		0	0	6
1 学期	ル) 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。 (一人1台端末の使用)		0			【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボード知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボード知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボーちの場合はユード(B、D7、C他)、キーボーちの場合はユードの大きについて理解し、技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくったいる表現力等】 音楽を形づくったの働きを感受しないて考え、どのようにでもとの関わりについて考え、どのよういとでしたこととがらられたこととがありません。との関わりができません。 「学びに向から力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、ルの演奏の学習活動に取り組もうとしている		0	0	6
	●ボディーパーカッション (Clapping Quartet No. 1) 【知識及び技能】 拍子とリズムの関係を理解して、音色も、の音やリズムを連ねたりしたとて、いめしたとで、はないででは構成上のででででは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、は、ないでは、は、は、ないでは、は、は、ないでは、は、ないでは、は、は、ないでは、は、は、ないでは、は、は、ないでは、は、は、ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	演奏させる ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。 (一人1台端末の使用)		0			【知識及び技能】 拍子とリズムの関係を理解して、音色、音やリズムを連ねたり重ねたりしたときの響き、特徴及び構理解 の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解 を深めている【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために、音楽を 形づくっているリズムの要素を変化させ、躍動的に付けている。 【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 リズムやリズムの関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこと色を切りについて考え、知覚したことと感受したことももののの関連を対したことをもついて考え、知覚したことをもののの関連を表現を創意工夫しているとともとし演奏する器楽表現を創意工夫しているからに生き生きとし演奏する器楽表現を創意工夫しているからに生き生きとし演奏する器楽表現を創意工夫しているからないに対しているか。		0	0	6

【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために	活動に生かす。(一人1台端末の使用)	0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて 理解している【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの 技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語による歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	0		0	8
●鑑賞 世界の諸民族の音楽 (ガムラン《ランチャラン マニャルセウ》) の音楽の構造を理解し、ガムランりの はとの関わり 他) 【知会を理解し、がの関わり 他) 【知られるのではに が知られる。 「ガムラン音楽の循環的な構造を理解する 「ガムラン音楽の循環のをではなどの関わりない。 「おいるのでは、表現力等」がある。 「おいるのでは、表現力等」がある。 「おいるのでは、ままでは、とととをでは、ないのでは、これの	律について理解する ○ジャワ島地域の自然と音楽の関わりについて考える ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。 (一人1台端末の使用)			O star of the star	【知識及び技能】 ガムラン音楽の循環的な構造を理解している【知識】 ガムラン音楽の文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている【知識】 【思考力、判断力、表現力等】 ガムラン音楽首楽を形づくっている要素や要素同士の 関連を知覚し、それらの働きを感受したこととの関わりに つながら、知覚したことと感愛したこととの関わりに ついて考えるとともに、ガムラン音楽のようとともにがあら、多様性を味わって聴いている 【学びに向かう力、人間性等】 ガムラン音楽とインドネシアの文化、自然及び社会などとの関わりに取り組もうとしている (グラン・協働的に取り組もうとしている)	0	0	0	8
キーボードの場合は五線譜による読譜について理解する【知識】	○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)			C HILL COLD IN	【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜をついて理解し、演奏を記し、表記では、表記では、表記では、表記では、表記では、表記では、表現力等】 音楽をおらの働きを感受しないであり、知覚したこととの関わりについて考え、どのようにであり、とキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、主体的・協働的にギターとも、主体的・協働的にギターとものアンサンブルの演奏の学習活動に取り組もうとしている	0	0	0	8
●創作 (《きらきら星》の変奏や編曲 他) 【知識及び技能】 変奏や変奏曲、編曲について理解する 【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素のにさせ、変化させ、変を後にさせ、変化させ、変をのはきを変化させ。 【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっておいる要素のに対ける 【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくってれらの働きたこの関連を対したことと自己なあるととをも大いので表ととも引について考えたのりにて考えよの割にことをを表してる。 関連を知覚したこととも見いて考えいの表現を割したことがあるさせ、変奏でに向変奏とのもってを表現の学習活動に主体的・協働的に取り組む			0	1	【知識及び技能】 変奏や変奏曲、編曲について理解している【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲する技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって変奏や編曲を伴う創作表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 旋律を変奏させ、アンサンブルを作る編曲などの創作表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている		0	0	6
●歌唱・鑑賞 (風に吹かれて、A Whole New World、ポピュラー音楽のジャンル他) 【知識及び技能】 ポピュラー音楽のジャンル、音楽構造や 歌詞に込められたアーティストの主張など との関わり及びポピュラー音楽の多様性な どについて理解を深める【知識】	○ポピュラー音楽のジャンルを理解する○英語歌詞の内容についてその背景を含めて理解する○歌詞の内容にふさわしい表現を考えて				【知識及び技能】 ポピュラー音楽のジャンル、音楽構造や歌詞に込められたアーティストの主張などとの関わり及びポピュラー音楽の多様性などについて理解を深めている【知識】 歌詞の内容を踏まえて、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う 技能を身に付けている【技能】				

つ学			0	【応与刀、刊断刀、衣現刀寺】 《アラジン》で描かれている登場人物の心情を感じ取り、また、ポピュラー音楽においては、英語歌詞の内容についてその背景を含めて理解し、曲想やジャンルなどを考慮してするとともに、音楽を形づくっを必要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを列したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 ポピュラー音楽の歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	0	0	10
	いて理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、 キーボードの場合は五線譜による読譜につ	○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。 (一人1台端末の使用)	0	【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととが受したこととの関わりについて考え、どのようにでするともでいる「学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、ギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、に対している「学びに向から力、人間性等」では、大きないのでは、いきないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのでは	0	0	6 合計 64

高等学校 令和6年度(2学年用)教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教 科: 芸術 科 目: 音楽Ⅱ 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

教科担当者: (1組:鳴島) (2組:鳴島) (3組:鳴島) (4組:鳴島) (5組:鳴島) (6組:鳴島) (7組:鳴島) 使用教科書: (高校生の音楽2

教科 芸術 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
の関わり及び音楽の多様性について理解すると	わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

				表現	₹			Τ			配
	題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	歌	器	創	鑑賞	評価規準	知	思	態	当 時 数
	史的背景との関わりについて理解する。 【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするため に必要な、曲にふさわしい発声、言葉の 発音、身体の使い方などの技能を身に付 ける。【技能】 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ○歌う時の姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する ○歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ○旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する ○楽譜に書かれている記号や拍子を確認する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)	0				【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要表しながら、大一がでしたことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている		0	0	6
1	●器楽 (ギターまたはキーボードのアンサンブル) 【知識及と楽器の関わりに 知識と楽器の【知声を養法との関わりりに が表して、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	○五線譜やコードの読譜について理解し、奏法を学ぶ ○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)		0			【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解 している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解したの場合は五点による読譜について理解した。 「知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜に行いて理解した。 「おの場合はエよる読譜に行いて理解した。 「おりまするために必要な奏法の技能を身に付けている【技技能】 「思考力、判断力、表現力等】 音楽を形らののととの関連を知らしたこととの関連を知らしたこととの関連を知らしたこととの関連を知らと感受したことにギターともにボードのアンブルを表え、なのととの関語に対している。 「学びに向からが、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心をもいて創意に向からボードのアンサンブルに関心をもいて創意に向いる。 「学びに向からボードのアンサンブルに関心をもいて創意に向いる」 「ギターともいる」 「ボターともいる」 「オターともいる」 「オターともいる」 「オターともいる」 「オターともいる」 「オターともいる」 「オターともいる」 「オターともいる」 「カーに対している」 「カーに対しないる」 「カーに対している」 「カーに対しないる」 「カーに対しているが、対しないる。 「カーに対しないる」 「カ	0	0	0	6
		○ドイツ語の発音の特徴を理解する ○ドイツ語のアクセントやリズムや旋律 との関わりを理解する ○歌詞の内容を理解し、表現を工夫する ○教科書に書かれているQRコードを読み 取り、演奏動画を鑑賞することで、表現 活動に生かす。(一人1台端末の使用)	0				【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、いると感受したこととの関わりについて考え、いる【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ語による歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	0	0	0	8
	●鑑賞 近現代音楽史 【知識及び技能】 近現代音楽の特徴を理解する【知識】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽首楽を形づくっている要素や要素同 士の関連を知覚し、それらの働きを感受	○各作曲家の作風、考え方、音楽の構造 を理解する。 ○教科書に書かれているQRコードを読み 取り、演奏動画を鑑賞することで、表現 活動に生かす。 (一人1台端末の使用)					【知識及び技能】 音楽の循環的な構造を理解している【知識】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽首楽を形づくっている要素や要素同士の関連を 知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこ とと感愛したこととの関わりについて考えるととも に、音楽の表現における共通性や固有性について考 え、音楽のよさや美しさ、多様性を味わって聴いて				

	しなから、知見したことと感変したこと との関わりについて考えるとともに、音 楽の表現における共通性や固有性につい て考え、音楽のよさや美しさ、多様性を 味わって聴く 【学びに向かう力、人間性等】 音楽と文化、社会などとの関わりについ て理解する鑑賞の学習活動に主体的・協 働的に取り組む.				0	いる 【学びに向かう力、人間性等】 音楽と文化、社会などとの関わりについて理解する 鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとし ている	0	0	0	8
2学期	●器楽 (ベルアンサンブル) 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりに ついて理解する【知識】 読譜について理解し、演奏するために 必要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○五線譜やコードの読譜について理解し、奏法を学ぶ ○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。 (一人1台端末の使用)				【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚したこととの関わりについて創意工夫していると感受したこととの関わりについて創意工夫している【学びに向かう力、人間性等】 アンサンブルに関心をもち、主体的・協働的に演奏の学習活動に取り組もうとしている。	0	0	0	8
	●創作 (自然音を用いた創作) 【知識及び技能】 変奏や変奏曲、編曲について理解する 【知識】 創意工夫を生かした創作表現をする表対 創意工夫を生かした形で表現である技能 のまたできないでは、 「思考をでする」とが表現力等 といる。 「思考を形づし、表現力等】 音楽をを知覚しいておらの場合によりに変を知覚しいて表やの関心ので表現のの関心ので表現をといる。 「学びに表現の学習活動に主体的・協働的に取り組む	○構成や声部、使用素材の創意工夫をし イメージをもって創作する ○完成した作品をグループごとに発表す る		0		【知識及び技能】 変奏や変奏曲、編曲について理解している【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲する技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって変奏や編曲を伴う創作表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 創作表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	0	0	0	6
	●歌唱・鑑賞 (風に吹かれのジャンル他) 【知に吹かれででは、 「知いででは、 「知いででは、 「知いででは、 「知いででは、 「知いででは、 「知いででは、 「知いででは、 「知いででは、 「知いでは、 「知いでは、 「知いでは、 「知いでは、 「知いでは、 「知いでは、 「知いでは、 「知いでは、 「知いでは、 「知いでは、 「知いでは、 「知いでは、 「知いでは、 「知いでは、 「はいいでででは、 「はいいでででは、 「はいいでででは、 「はいいでででは、 「はいいでででは、 「はいいでででは、 「はいいででででいい。 「はいいででででいいが、 「はいいででででいれいで、 「はいいででは、 「はいいででは、 「はいいででは、 「はいいでででは、 「はいいでは、 「はいいではいいでは、 「はいいではいいでは、 「はいいではいいではいいではいいでは、 「はいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいい	○ポピュラー音楽のジャンルを理解する ○英語歌詞の内容についてその背景を含めて理解する ○歌詞の内容にふさわしい表現を考えて 演奏する ○芸術活動を支える著作権について理解 する ○教科書に書かれているQRコードを読み	0		0	【知識及び技能】 ポピュラー音楽のジャンル、音楽構造や歌詞に込められたアーティストの主張などとの関わりり及びいる『知識』 歌詞の内容を踏まえて、創意工夫を生かした歌唱表現を生から表して、表現を生かした歌唱を選択態の内容を踏らがでは、表現が変を生かした歌音を生物では、表現がで描れている。 【思考力、判断力、表現力等】 《アラジン》で描か力、表現の心情を感じします。 《アラジン》で描かり、登場人物の心情を感じします。 、本書を含として、曲を形れては、無をできるともをできるともを知らなどを素でいる要としたでできるととなが、またいる要受したのした。 「学びにある。」 、おピュラー音楽の歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	10
3 学期	●器楽 (ギターまたはキーボードのアンサンブル) 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりに ついて理解する【知識】 ギターの場合はコード (G、D7、C 他)、キーボードの場合は五線譜による 読譜について理解する【知識】 ギターの場合はコード (G、D7、C	○五線譜やコードの読譜について理解し、奏法を学ぶ ○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)		0		【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、高人での場合は五線譜による読譜について理解し、「複奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫している【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組もうとしている	0	0	0	6

ギターとキーボードのアンサンブルに 関心をもち、主体的・協働的にギターと			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		合計
キーボードのアンサンブルの演奏の学習 活動に取り組む					58

高等学校 令和6年度(3学年用)教科 芸術 科目 音楽Ⅲ

教 科: 芸術 科 目: 音楽Ⅲ 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3学年 1組~ 6組

教科担当者: (1組: 鳴島) (2組: 鳴島) (3組: 鳴島) (4組: 鳴島) (5組: 鳴島) (6組: 鳴島)

使用教科書: (Joy of music (教育芸術社))

教科 芸術 の目標:

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅲ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
の関わり及び音楽の多様性について理解すると	とや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味 わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むととも に、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によっ て生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度 を養う。

				表瑪	Į						配
	題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	歌	器	創	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史 的背景との関わりについて理解する。【知 識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために 必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発 音、身体の使い方などの技能を身に付け る。【技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ○旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する ○楽譜に書かれている記号や拍子を確認する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)	0				【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素やの関連を知覚し、それらの働きを感受しながらえ、の関連を知覚し、それらの働きを感受しないて考え、の関連を知覚したこととの関わりについて考えいるしたことと感受したこととの関わりについて考えいる【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている		0	0	6
期	●器楽 (ギター、ピアノ個人課題) 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する【知識」ード(G、D7、C他)、キーボターの場合はは五五線譜による読譜による読譜による表語譜による表語語によるはな出土に(G、D7、C他)、キーボードの場場はは一下(G、D7、C他)、キーボードの場場はは一下(G、D7、C他)、キーボードのよいでは、演奏をがしたはないでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	う ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。 (一人1台端末の使用)		0			【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボード の場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボード の場合は五線譜による読譜について理解し、演奏能】 ために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている表表、どのように演奏し、それらの働きを感受しないて考え、どのように演奏したこととの関わりについて考え、どのように演奏でするかについて創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 演奏に関心をもち、主体的・協働的に演奏の演奏の学習活動に取り組もうとしている		0	0	6
	(イタリア歌曲、日本歌曲、ソルフェージュ 他) 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わ		0				【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	0	0	0	8
	●鑑賞 音楽史	○各作曲家の作風、考え方、音楽の構造 を理解する。					【知識及び技能】 音楽の循環的な構造を理解している【知識】				

2 学期					\circ	【応与ル、刊町ル、	0	0	0	8
	いて理解する【知識】 読譜について理解し、演奏するために必 要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】	活動に生かす。(一人1台端末の使用)				【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのようにアンサンブルをするかについて創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 アンサンブルに関心をもち、主体的・協働的に演奏の学習活動に取り組もうとしている。	0	0	0	8
	歌詞の内容を踏まえて、創意工夫を生かした歌詞の内容を踏まえて、創意工夫を現形の内容を踏まえために必要な、表現形の特徴を生かして歌う技能を身に付ける【思考力、判断力、表現力等】 《アラジン》で描かれ、おるラーではいるでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	○ポピュラー音楽のジャンルを理解する ○英語歌詞の内容についてその背景を含めて理解する ○歌詞の内容にふさわしい表現を考えて 演奏する ○芸術活動を支える著作権について理解 する ○教科書に書かれているQRコードを読み 取り、演奏動画を鑑賞することで、表現 活動に生かす。 (一人1台端末の使用)	0		0	【知識及び技能】 ポピュラー音楽のジャンル、音楽構造や歌詞に込め られたアーティストの主張などとの関わり及びポピラー音楽の多様性などについて理解を深めている【 ・	0	0	0	10
期	●器楽 (ギターまたはキーボードのアンサンブ ル) 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりにつ いて理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、 キーボードの場合は五線譜による読譜につ いて理解する【知識】	し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み 取り、演奏動画を鑑賞することで、表現 活動に生かす。 (一人1台端末の使用)		C		【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている表現力等】 音楽を形づくっている表現の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組もうとしている	0	0	0	6
	心をもち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に 取り組む									計 52
										52

高等学校 令和6年度(3学年用)教科 芸術 科目 音楽 I

教 科: 芸術 科 目: 音楽 I 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3学年 1組~ 6組

教科担当者: (1組: 鳴島) (2組: 鳴島) (3組: 鳴島) (4組: 鳴島) (5組: 鳴島) (6組: 鳴島)

使用教科書: (高校生の音楽 1 (教育芸術社))

教科 芸術 の目標:

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 [

【知識及び技能】	【思考力	、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的での関わり及び音楽の多様性について ともに、創意工夫を生かした音楽表現 めに必要な技能を身に付けるようにで	里解するととや、音楽を評価し 見をするたわって聴くことがで	たがらよさや美しさを自ら味 きるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むととも に、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によっ て生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度
			を養う。

				表坊	Ċ						配
	題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	歌	器	創	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
	音、身体の使い方などの技能を身に付ける。【技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ○旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する ○楽譜に書かれている記号や拍子を確認する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)	0				【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素やの関連を知覚し、それらの働きを感受しながらえ、の関連を知覚し、それらの働きを感受しないて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	0	0	0	6
1 学期	曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、 キーボードの場合は五線譜による読譜について理解する【知識】	う ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)		0			【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、「技能】 の場合は五線譜による読譜について理解し、「技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと演奏とれらの関わりに大きしている 【学びに向かう力、人間性等】 演奏に関心をもち、主体的・協働的に演奏の演奏の学習活動に取り組もうとしている	0	0	0	6
	●歌唱 (イタリア歌曲、日本歌曲、他) 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい技能を身に付ける ででは、事体の使い方などの技能を身に付ける。 「技能】 【思考力、判断力、、表現力等】 音楽を形づく、それらの働きを感としていた。と感受したことをもついたののしたことをもっていたのではたこでありについて利意について利意について利意とと感のでいた。というのでは表現を制きないと感じて表え、自己ながら、について利意によっる。 【学びに向かう力、る歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組む	活動に生かす。(一人1台端末の使用)	0				【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをしたこととの関わりにでいる 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	0	0	0	8
	●鑑賞 音楽史	○各作曲家の作風、考え方、音楽の構造 を理解する。 ○************************************					【知識及び技能】 音楽の循環的な構造を理解している【知識】				

2 学期					\circ	【応与ル、刊町ル、	0	0	0	8
	いて理解する【知識】 読譜について理解し、演奏するために必 要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】	活動に生かす。(一人1台端末の使用)				【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのようにアンサンブルをするかについて創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 アンサンブルに関心をもち、主体的・協働的に演奏の学習活動に取り組もうとしている。	0	0	0	8
	歌詞の内容を踏まえて、創意工夫を生かした歌詞の内容を踏まえて、創意工夫を現形の内容を踏まえために必要な、表現形の特徴を生かして歌う技能を身に付ける【思考力、判断力、表現力等】 《アラジン》で描かれ、おるラーではいるでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	○ポピュラー音楽のジャンルを理解する ○英語歌詞の内容についてその背景を含めて理解する ○歌詞の内容にふさわしい表現を考えて 演奏する ○芸術活動を支える著作権について理解 する ○教科書に書かれているQRコードを読み 取り、演奏動画を鑑賞することで、表現 活動に生かす。 (一人1台端末の使用)	0		0	【知識及び技能】 ポピュラー音楽のジャンル、音楽構造や歌詞に込め られたアーティストの主張などとの関わり及びポピラー音楽の多様性などについて理解を深めている【 ・	0	0	0	10
期	●器楽 (ギターまたはキーボードのアンサンブ ル) 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりにつ いて理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、 キーボードの場合は五線譜による読譜につ いて理解する【知識】	し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み 取り、演奏動画を鑑賞することで、表現 活動に生かす。 (一人1台端末の使用)		C		【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている表現力等】 音楽を形づくっている表現の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組もうとしている	0	0	0	6
	心をもち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に 取り組む									計 52
										52

高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 芸術 科目 美術 I

教 科: 芸術 科 目: 美術 I 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 6組

教科担当者: (1組:佐々木陽) (2組:佐々木陽) (3組:佐々木陽) (4組:佐々木陽) (5組:草川) (6組:草川)

使用教科書: (美術 1 (光村図書)

教科 芸術 の目標:

【 知 識 ・ 技 能 】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにす	発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美	涯にわたり美術を愛好する心情を育むととも

				表	現						配
	題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵·彫	デ	一映	鑑賞	評価規準	知	思	態	317
	●表現基礎を学ぶ(絵画表現) 【知識・技能】 形や色彩,材料などの性質や造形的な特徴などをもとに、表現の基礎でで捉える。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすらわす。 【思考・判断を見つのの思いなどやはまではあいままりがである。 はまずなものでは、表現とし、創造的などのではがある。 「思考・判断を見つめ、感じ取った特徴を生成し、形や色、構図、材料的などのではがから自分の思いなどがや用表現の特性などに対する自分の思いなどやお表え、創造を生成し、形やとにはをである。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にごとを感じ取り、造形いな組まで、といるなどをもとにした表現の創造活動に取り組 む。	・指導事項 ○鉛筆の性質や特徴を理解し、デッサン表現の基礎的な考え方(調子、光、陰影、立体感など)について理解する。 ○カッターや定規などの用具の特性を生かして表現を工夫させる。 ○他者の作品からよさや美しさを感じ取り、自分の創造的な表現活動に取り組む。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。(スマスク端末の活用)	0			0	【知識・技能】 形や色彩,材料などの性質や造形的な特徴などをもとに、表現の基礎的な部分を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、創造的にあらわそうとしている。 【思考・判断・表現】 身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	0	0	0	8
学期	●静物画(絵】 「知識・技能】 一般のでは、 一ののでは、 一	・指導事項 ○心ひかれる静物をあらわすことや、静物から感じ取ったことや、静物からを生成する。 ○主題をもとに、形や色、構図などを工夫を無る。 ○主題をもとに、形や色、構図などを工夫を側がでする。 ○治典や筆などの用具の特性を生かして表現をは高い、意図や工夫を関し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコー賞し、活動に生かす。(スマスク端末の活用)	0				【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、光や 陰影、奥行きなどの造形的な特徴などをもとに、静物 を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉える 意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かす とともに、表現を工夫し、主題を追求して創造的にある。 【思考・判断・表現】 心ひかれる静物を見つめ感じ取ったことや、その 物に対する自分の思いなどから主題を生成し、光の 色、光や陰影、構図や奥行きなどについて考え、 色、光や陰影、構図や奥行きなどについて考え。 「発想・はさを感じ方を と的なれている静物の造形的なよさを感じ方を深めている。 「思・鑑賞】 「主体的に静物を描いた作品の造形的なよさや美しなど 感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いて 感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いて考える鑑賞】 主体的に静物を描言図や作品に取り組もうとしてい で、電質、 「態度・鑑賞】	0	0	0	20

2		・指導事項 ○メッセージを広く伝えるデザインに関 心をもち、メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成する。 ○主題をもとに、作品形態や表現方法、配色や構成などの構想を正夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○対科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。(スマスク端末の活用)			●スケッチブック表紙デザイン(デザイン) 【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴などをもとに、効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしてある。 【思考・判断・表現】 メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し、効果的な表現形態や文字の配置、構成、ている。 【思考ッセージを伝えるがずインの目的や機能の調和によっいを考え、創造的なデザインの間的や機能の調和によりまれた洗練された美現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にメッセージを伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。	0	0		18
学期	●石膏レリーフ(彫刻表現) 【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす 効果や、量感や質感、動勢などの造形的 な特徴などをもとに、生命感をあらわし た動物や植物の彫刻を、全体のイメージ や作風などで捉えることを理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を生かす とともに、立体であらわす表現の方法を 工夫し、主題を追求して創造的にあらわ す。 【思考・判断・表現】	・指導事項 ○生命感をあらわした作品に関心をもち、身近な人や動物などから感じ取った生命感から主題を生成する。 ○主題をもとに、材料やポーズ、構図などの構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、活動に生かす。(スマスク端末の活用)	0	C	●石膏レリーフ(彫刻表現) 【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、量感や質感、動勢などの造形的な特徴などをもとに、生命感をあらわした動物や植物の彫刻を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、立体であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 動物や植物などを見つめて感じ取った生命感などから主題を生成し、材料の特性を生かし、質感や量感、動勢などについて考え、創造的なよ表現の構想を練っている。 生命感をあらわした彫刻の造形的なよさ表現のことを感じ取り、作者の心情や意図と創造的ないる。 【主体的に動物や植物などを見つめ、感じ取った生命感どについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に動物や植物などを見つめ、感じ取った生命感をもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	0	0	0	14
学期	●アニメーション制作(映像メデー・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	・指導事項 ○アニメーションに関心をもち、アニメーションならではの動きなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色、光、構図、動きなどの構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料を動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。(スマスク端末の活用)			●アニメーション制作(映像メディア表現) 【知識・技能】 形や色、材料、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、アとをは、アンションで題を追求して表現の意図を効果的にあられて、一型を力を追求してもいる。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、アとをし、ションで題を追求して表現のを効果的にありまれた。 【思メーションを追求しても動きなどをもとに、映像といった。 【思アニメアのもではの動きなどをもとに、の変いの調きなどをもとに、の変いの調きないの動きっている。 【思アニメアの特性を生かして表現のコロを対象のではのがである。 「おいてのでは、現場を表現では、また、アーショルののでは、またで、はの動きなどをもとに、では、などでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、では、ないのでは、ないのでは、ないのでは、では、ないのでは、では、ないのでは、では、ないのでは、では、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、またでは、ないのでは、ないいのでは、ないのでは、	0	0	0	10 合計

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教 科: 芸術 科 目: 美術Ⅱ 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2学年 1組~ 7組

教科担当者: (1組:草川) (2組:草川) (3組:草川) (4組:草川) (5組:草川) (6組:草川) (7組:草川)

使用教科書: (美術2(光村図書)

教科 芸術 の目標:

【 知識・技能 】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創		主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生 涯にわたり美術を愛好する心情を育むととも
意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができ	3 A 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	に、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、
るようにする。	たりすることができるようにする。	心豊かな生活や社会を創造していく態度を養
		, ,
	表現	配

題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵·彫	デ	鑑	計順規學	知	思	態	配当時数
●表現基礎・記した表現のは 「大学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学	・指導事項 ○鉛筆の性質や特徴を理解し、デッサン表現の基礎的な考え方(調子、光、陰影、立体感など)について理解する。 ○カッターや定規などの用具の特性を生かして表現を工夫させる。 ○他者の作品からよさや美しさを感じ取り、自分の創造的な表現活動に取り組む。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。(スマスク端末の活用)		0	0	【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴などをもとに、効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し、効果的な表現形態や文字の配置、構成、配色などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。メッセージを伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習に取り組む態度】 主体的にメッセージの内容や伝える相手について考え、効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている	0	0	0	10
 ●ポスターデザイン) 【知識・技能】 形や色,材料,光などが感情にもなないの造形のででは、 を、全体のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	・指導事項 〇メッセージを広く伝えるデザインに関心をもち、メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成する。 ○主題をもとに、作品形態や表現方法、配色や構成などの構想を練る。 ○形や色、構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。(スマスク端末の活用)		0	0	●ポスターデザイン(デザイン) 【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、配色 や構成などの造形的な特徴などをもとに、効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉える ことを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し、効果的な表現形態や文字の配置、構成、配色など、効果的な表現形態や文字の配置、構成、配色などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 メッセージを伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にメッセージの内容や伝える相手について考え、効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。	0	0	0	20
●立体制作(彫刻表現) 【知識・技能】 形や色,材料,光などが感情にもたらいである。 、生をもとに、生命感をからいた動物や植物の彫刻を、生を理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を方とのからいでは対料や用具の特性を方とのがあられてがあられて、主題を追求した。 「き図に応じな体ではずる。では、主題を追求した。 「ととし、主題を追求したがでは、ものでは、では、主題を追求を見からなどをもとに、主題を追求した。 「ととし、主題を追求を見からいる。 「ととし、主題を追求を見からいる。 「とともし、主題を追求を見からいる。 「とともし、主題を追求を表現のでは、動勢感がは、動勢感がなど練がない。 「生本のでは、動きない、は、動きない、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	・指導事項 ○生命感をあらわした作品に関心をもち、身近な人や動物などから感じ取った生命感から主題を生成する。 ○主題をもとに、材料やポーズ、構図などの構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。(スマスク端末の活用)	0		0	●石膏レリーフ(彫刻表現) 【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、量感や質感、動勢などの造形的な特徴などをもとに、生命感をあらわした動物や植物の彫刻を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、立体であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 動物や植物などを見つめて感じ取った生命感などから主題を生成し、材料の特性を生かし、質感や量感、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 生命感をあらわした彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に動物や植物などを見つめ、感じ取った生命感をもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	0	0	0	18

別別 大能 下で、大・ションとない。 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大	合計 62
---	-------

芸術 科目 美術Ⅲ 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科

科 目: 美術Ⅲ 単位数: 2 単位 教 科: 芸術

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 6 組

教科担当者: (1~6組:草川) 使用教科書: (美術3(光村図書)

教科 芸術 の目標:

【知識・技能】

対象や事象を捉える造形的な視点について理解

【知識・技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

)

術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生涯にわたり美術を愛好する心情を育むととも

【思考・判断・表現】

七宝ならではの構造などをもとに,デザイン表現の 特性を生かして表現の主題を生成し,光や視点などの

視覚的な要素の働きやコマの構造の変化などについて

【主体的に学習に取り組む態度】

主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生

【思考・判断・表現】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【思考・判断・表現】

造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美

科目 美術Ⅲ

の目標:

した自由制作(総動乗車) 「「発売、大田」という主題から自己の内面を表 くのまたいると、2019年の、新作などの性質や影形のと、2019年の あらわた作品を、名称のまた。1、元」という主場で あらわた作品を、名称のまた。1、元」という主場で あらわた作品を、名称のまた。1 日本の経験する。 生態に会かせて好様や用臭の神性を生かして、現場がと用臭の神性を生かすともに、表現り方を正式し、最後の生活を観し、おやと、関連の心臓がよるわまり。 「農や・半断・表現」 「医学・半断・表現」・ 「日本の主義を対し、日本の主義を自動したといって考え、創造的となどいついて考え、創造的となどいついて考え、創造的となどといついて考え、創造的となどといついて考え、創造的となどといついて考え、創造的となどとといって、3 日本の経験を分類でならの情性を生かした。 「日本の主義を表し、影や色、関本の主義を表し、一次で見、実現所能で生から、一次でよった時間を対した。」 「選が、半断・表現の事態を構る。」という主題を表した。「大きないなどのも見つか、感じ取った特別を分類が表した。」 「おいまでは、一般や色、横刀、大きなどと表表を思し、影や色、見力や感じ 「大きないな多様な現れたら考え、見力や感じ 「大きなどとを表表を思し、多から考え、見力や感じ 「大きなどとを表表を思し、意から考え、見力や感じ 「大きなどとを表表を思し、意から考え、見力や感じ 「大きなどとを表表を思した。」 「日本のとな感じな活動に取り組を書」」 「主体的に学習に取り組を整定した。」 「本体ので学者に取り組を整定した。」 「本体のに学習に取り組を整定した。」 「本体ので学者に取り組を変し、音を見した。 「大きなどとを表表を思し、自分の思いなどをもとに、あらわした影が自然となどの表表を思した。 「大きなどの造形かな音をなした。」 「大きなどの造形かな音を表ました。」 「大きないる」 「大きないる」」 「大きないる」 「大きないる」」 「大きないる」 「大きない		題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵•彫	表現 デ 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	酉 兰 民 娄
現の職・技能】 「根知職・技能】 「表した。 」」 「本生体のイメージや作風などで捉えることを、 「大学性風などで捉えることを、 「人工機」を、 「人工機」を 「人工を 「人工 」 「人工	L学明	した知識などを性性 というなで作生性 というなで作生性 というなで作生性 というなで作生性 というなでにといる。 をでいる。特別のでは、 というながあれる。 というながあれる。 というながあれる。 というながあれる。 というながあれる。 というながあれる。 というながあれる。 というながあれる。 というながでにないます。 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というながででは、 というなが、 にいいのは、 にいいいのは、 にいいいのは、 にいいいのは、 にいいいのは、 にいいいいのは、 にいいいいのは、 にいいいいのは、 にいいいいのは、 にいいいいいのは、 にいいいいいのは、 にいいいいいいのは、 にいいいいいいのは、 にいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	く見つめ、感じ取ったことから主題を生成させる。 ○形や色彩、材料などの造形要素の性質や特徴を理解し、材料と用具の特性を生かして表現を工夫させる。 ○他者の作品からよさや美しさを感じ取り、自分の創造的な表現活動に取り組ませる。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生か	0		0	とに、「光」という主題であらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。主題に合わせて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、個性を生かして創造的にあらわしている。 【思考・判断、表現】 「光」という主題をもとに、自己の経験や身近なものを見つめ、感じ取った特徴や自分の思いなどからがあられた創作主題を生成し、形や色、構図、材料を推っている。 「光」という主題であらわした作品の造形的なよ現の推生などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「光」という主題であらわした作品の造形的なよ表見とさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と感じ、や美しさなどを感じ取り、見方や感じ方を深めている。 【主体的に自然や自己、社会などを表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の思いなうともとにした絵画表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造的な諸活動に		0	0	1
	2.学明	現) 【知識・技能】 形や色,材料などが感情にもたらす効果や、最感や質感、動勢などの造形的品を、 全体のイメージや作風などが感情にもを生れる。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすと理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を生かす。 を理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を表した。 意図に応じて材料や自動を生活がある。 と夫し、主題を出る。 を表現したと表現した。 と夫し、主題をはいるの特性を表現とない。 と大きにで表れる。 と大きにで表れる。 と大きにである。 と大きにである。 と大きにである。 と大きにである。 と大きにである。 と大きにである。 ともし、ないのでは、 がいながし、ないのでは、 を表現したが、 がいながし、 は、 がいながし、 は、 がいないる。 とも、 とも、 とも、 とも、 とも、 のののででいる。 とも、 とも、 とも、 とも、 ののででいる。 とも、 とも、 とも、 ののでいる。 とも、 とも、 とも、 ののでいるが、 ののでいるが、 は、 とも、 とも、 ののでいる。 とも、 とも、 とも、 とも、 ののでいる。 とも、 とも、 とも、 ののでいる。 とも、 とも、 とも、 ののでいる。 とも、 とも、 とも、 ののでいる。 とも、 とも、 とも、 ののでいる。 とも、 とも、 とも、 ののでいる。 とも、 とも、 とも、 ののでいる。 とも、 とも、 とも、 ののでいる。 とも、 とも、 とも、 とも、 ののでいる。 とも、 といる。	○意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、彫刻であらわす表現の方法を工夫し、主題を生成する。 ○主題をもとに、形や構図などの構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生か	0		0	【知識・技能】 形や色、材料などが感情にもたらす効果や、量感や質感、動勢などの造形的な特徴などをもとにあらわした 彫刻作品を、全体のイメージや作風などで捉えること を理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、 彫刻であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して 創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 水牛角の材質から感じ取った美しさなどから主題を 生成し、材料の特性を生かし、などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 生命感をあらわした彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に水牛角の材質感や、感じ取った特性をもとに	0	0	0	1

○教科書のQRコードを読み取り画像資料 や動画資料を鑑賞し、表現活動に生か

す。 (スマスク端末の活用)

て表現の意図を効果的にあらわす。

七宝ならではの構造などをもとに、デ

ザイン表現の特性を生かして表現の主題

【思考・判断・表現】

を生成し、光や視点などの視覚的な要素で働きやコマの構造の変化などについて考え、創造的な表現の構想を練る。七宝の特質や表現効果などを感じ取り、制作表現の工夫などについて考え、見方や感じ学習に取り組む態度】主体的に学習に取り組む態度】主体的に、表現の情造などをもとにした続的な七宝作品を鑑賞してじまた伝統的な七宝作品を鑑賞してじま表現の特質の表現効果などを感じて取り、作者の意図や撮影の際の工夫などのいて考える鑑賞の創造活動に取り組む。			考え、創造的な表現の構想を練っている。 七宝の特質や表現効果などを感じ取り、制作時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に、七宝ならではの構造などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。 また伝統的な七宝作品を鑑賞して、七宝表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の意図や撮影の際の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。		合計 35	
--	--	--	---	--	-------	--

高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 芸術 科目 書道 I

教 科: 芸術 科 目: 書道 I 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 6組

教科担当者: (1組: 梅田) (2組: 梅田) (3組: 梅田) (4組: 梅田) (5組: 梅田) (6組: 梅田)

使用教科書: (書 [(光村図書))

教科 芸術 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 [

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構	
	想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化 の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたり	たり書を愛好する心情を育むとともに、感性を 高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心
		豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

				表現	₹						配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	漢仮	漢	仮賞	監賞	評価規準	知	思	態	517
	【・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	基礎的な知識を身につけさせる。 ③教科書 p 126「書写で学習したこと」や硬筆レッスン帳等を参照し、筆使い、字形、文字の大きさと配列など、小・中学校の国語科書写で学習した内容を確認する。 ④漢字には五つの書体があることを理解させる。 ⑤それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解させる。 (書画カメラ、プロジェクター、		0			【知識・技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中・学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体におる。 【思字の特徴について考え、書の出れて、書の古典の価値と根拠について考え、書のよさをもに関心を持ち、書道で学習よさや、小・を持ち、書道で学習した内容に関心を持ち、主体的に取り組んで表表の書ので学習したとする態度を養っての背景にある歴史で文化に関心をもち、主体的に漢字の書のをもち、主体的に漢字の書のをもち、主体的に漢字としている。		0	0	6
1 学期	【知識とは ・運業を ・運業を ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のでする ・のででする ・のででする ・のででする ・のででする ・のででする ・のででする ・のででする ・のででする ・のででする ・のででする ・のででする ・のででする ・のででででででいまり ・でででいまり ・ででででいまり ・ででででいまり ・ででででいまり ・ででででいまり ・ででででいまり ・ででででいまり ・ででででいましま。 ・ででででいまり ・ででででいまり ・ででででいまり ・ででででいまり ・でででででいまり ・ででででででででいましま。 ・でででででででででいましま。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	①鑑賞 26.27)というでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、との		0			【知識・技能】 ・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知典を表現効果や風趣と表現効果を風趣と表文字と表現効果を画のを流との関わり、の要素と表現効果を画のでは、ままで、ままで		0	0	12
	【知識及び技能】 ・楷書の古典の書体や書風と用筆・	153~156) とb鄭羲下碑(教科書p 50・51) を比較鑑賞し、aの刻法に よって生じる独特な点画や字形、方 勢による力強さや重厚感、また、b					関わりについて理解している。(知識・表現) ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。(知識・				

	・楷書の古典に基づく基本的な用 筆・運筆の技能、線質、字形や構成 を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】	の構えなどの特徴を理解させる。 ②aとbどちらか一方の好きな古典を 選び、古典それぞれの点画や線質・ 字形の特徴を意識して臨書させる。 ③完成した作品を並べて鑑賞し合い、用筆や紙面のまとめ方などの工 夫を感じ取る。 (書画カメラ、プロジェクター、	0		鑑賞) ・ 格書の古典に基つく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 (技能) 【思考・判断・表現】・ 楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について工夫している。 (表現)・ 楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 (鑑賞) 【主体的に学習に取り組む態度】・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 (表現)・主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (鑑賞)		0	0	4
	・用具・用材の特徴と表現第果との関対の特徴と用筆を表現第を表現第を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を	②選文・神の (1) での (2) を (3) を (4) を (4) を (5) を (5) を (6) を (6) を (7)	0		【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりいて書体や書風と明難・運輸を表現別との関わりについて、の関わりについて、の関わりにの関わりにの関わりにの関わりにの関わりにの関わりにのでは、大きなののでは、大きないが、大きないが、はないが、大きないが、はいが、大きないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、	0		0	10
学期	【知識及び技能】 ・運動を ・運動を ・運動を ・運動を ・運動を ・運動を ・運動を ・運動を	・指導事項 ①付書を告ととという。 ②情書を表していなどのでは、 ②情事では、 の性では、 の性では、 の性では、 の性では、 の性では、 の性では、 の性では、 の性では、 の性では、 の性では、 の性では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	0		【知識・技能】・技能」の書解して、 ・技能」の書解して、 ・現別のでは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・でででは、 ・でででは、 ・でででは、 ・ででででは、 ・でででは、 ・でででででででででででででででででいる。 ・でででででいる。 ・ででででいる。 ・ででででいる。 ・でででいる。 ・でででででででいる。 ・でででいる。 ・ででででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・ででいる。 ・でででいる。 ・でいる。 ・でいる。		0	0	14

3学期	(仮知識などのでは、	②至性のの一個を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を			【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動 に取り組もうとしている。(表現) ・主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動 に取り組もうとしている。(鑑賞)	0		0	18
	【知識及び技能】 ・関連を表現の特徴と表現の用すの特徴と表現の特徴と表現の特徴と表現の特徴と表現の表現の表現の表現のの現立のの、関連を表現のの、関連を表現のの、関連を表現のの、関連を表別のである。 ・線やでのの、関連のは、のの、関連を表別のでは、のの、関連のののでは、のの、関連のののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のので	①漢字仮名を選出の表表をというでは、一次のでは、のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一	0	C	【知識・技能】 ・用料の特徴現の関連を表現等の関連を表現の関連を表現の関連を表現の関連を表現の関連を表現の関連を表現の関連を表現の関連を表現の関連を表現の関連を表現のでは、一般との関連を表現のでは、一般との関連を表現のでは、一般を表現のでは、一般を表現のでは、一般を表現のでは、一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	0	0		6 合計

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教 科: 芸術 科 目: 書道Ⅱ 単位数: 2 単位

●漢字の書の作品制作1

・漢字の書の古典の特徴と用筆・運 典の書風を基に半紙に好きな文字を

・線質、字形、構成等の要素と表現・扇面に臨書作品制作をする。

書く)

・近代書の作品鑑賞をする。

・半紙に臨書作品を制作する。

書・隷書から好きな古典を選び、古

●漢字の書の作品制作1

・漢字の書を構成する様々な要素に

筆との関わりについて理解させる。

【知識及び技能】

ついて理解させる。

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 6 組

教科担当者: (1 組: 梅田) (2 組: 梅田) (3 組: 梅田) (4 組: 梅田) (5 組: 梅田) (6 組: 梅田)

使用教科書: (書Ⅱ (教育図書)

教科 芸術 の目標:

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ

の目標

	【知識及び技能】		【思考力、判例	<u> 斤力、</u>	表	現力	等】	【学びに向かう力、人間性	E等)			
Ш	iの表現の方法や形式、多様性などに	ついて幅 🚪	あよさや美しさを感 え	受し	、意	図に	基	づいて創 主体的に書の創造的な諸活動に取り	り組	み、	生	涯
果的に表現するための技能を身に付けるように 品や			₺的に構想し個性豊か∫	こ表	現を	エヺ	きし	たり、作 にわたり書を愛好する心情を育むる	とと	もに	Ξ,	感
月	広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効 造的に構想し個性 果的に表現するための技能を身に付けるように 品や書の伝統と				や価	値を	F考	え、書の 性を高め、書の伝統と文化に親しる	み、	書を	と通	し
3	たる。	美	€を味わい捉えたりす _'	るこ	とが	でき	きる	ようにす て心豊かな生活や社会を創造してに	ハく	態度	きを	養
L		8	,)					う。				
_	- m					-						
					表瑪	ļ						配
	単元の具体的な特道日標	塩	道佰日。内宓	244			鑑	評価規準	知	思	態	当
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	18	等块口 77分	漢仮	漢	仮	賞	叶 加 <i>元</i>	\	心	165	時数
				TIX								数
	●書へのいざない	●書へのいさ	<i>Š</i> ない					●書へのいざない				
	【知識及び技能】	私たちは路	富書で何を学ぶのか、書	ŕ				【知識及び技能】				

の創作に必要なものを考えさせる。 ・漢字の書・仮名の書を構成する様々な要素 ・漢字の書・仮名の書を構成する ・合同作品制作(漢字仮名交じり) 様々な要素について理解させる。 について理解している。 ・漢字の書・仮名の書古典の特徴と ・漢字の書・仮名の書古典の特徴と用筆・運 筆との関わりについて理解している。 用筆・運筆との関わりについて伝え ・線質や字形、構成等の要素と表現効果や風 ・名筆や現代の様々な書の表現、古 趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の 伝統と文化、漢字の書、仮名の書の特質とそ 典の特徴と、用筆・運筆との関わり の歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの こついて伝える。 関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の価値とその根拠について考 【思考力、判断力、表現力等】 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 4 ・中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した え、書のよさや美しさを味わって深 く捉えるよう指導する。 字形、文字の大きさ、全体の構成について構 【学びに向かう力、人間性等】 想し工夫している。 ・主体的に創造的な鑑賞の学習活動 ・作品の価値とその根拠について考え、書の に取り組むよう促す。 よさや美しさを味わって深く捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字の書、仮名の書、漢字仮名交 じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組 もうとしている。 ・主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組 もうとしている。 ●漢字の書(篆書・隷書・草書) ●篆書 ●漢字の書(篆書・隷書・草書) 【知識及び技能】 篆書の特徴を知る。 【知識及び技能】 ・「馬」字を通して篆書の特質とそ ・篆書・隷書・草書を構成する様々 ・篆書・隷書・草書を構成する様々な要素に の歴史について理解を深めさせる。 な要素について伝える。 ついて理解している。 ・篆書・隷書・草書の古典の特徴と |・石鼓文の臨書を通して大篆の書美 ・篆書・隷書・草書の古典の特徴と用筆・運 用筆・運筆との関わりや、篆書・隷 を学ぶ。 筆との関わりや、篆書・隷書・草書の美と時 書・草書の美と時代、風土、筆者な |●隷書 代、風土、筆者などとの関わりについて理解 どとの関わりについて伝える。 ・隷書の特徴を知る。 を深めている。 ・篆書・隷書・草書の古典に基づく 1・「平成」字を通して隷書の特質と ・篆書・隷書・草書の古典に基づく効果的な |効果的な表現の技能を身に付けさせ |その歴史について理解を深めさせ 表現の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 10 【思考・判断・表現】 |瑛碑の臨書を通して隷書の書美を学 ・書道Iの学習を踏まえ、篆書・隷書・草書 ・書道Iの学習を踏まえ、篆書・隷「ぶ。 の表現形式に応じた全体の構成について構想 書・草書の表現形式に応じた全体の┃・居延漢簡、開通褒斜道刻石の臨書 し工夫している。 |構成について構想し工夫するよう促 |を通して時代、風土、筆者などとの ・篆書・隷書・草書の古典の価値とその根拠 について考え、書のよさや美しさを味わって 関わりについて学ぶ。 ・篆書・隷書・草書の古典の価値と ●草書 深く捉えている。 その根拠について考え、書のよさや ・草書の特徴を知る。 【主体的に学習に取り組む態度】 美しさを味わって深く捉えるように┃・「神融筆暢」字を通して草書の特┃ ・主体的に篆書・隷書・草書の創造的な表 期 質とその歴史について理解を深めさ 現・鑑賞の学習活動に取り組もうとしてい ムスる。 【主体的に学習に取り組む態度】 せる。 る。 ・主体的に篆書・隷書・草書の創造

(篆

(草

●漢字の書の作品制作1

わりについて理解している。

漢字の書を構成する様々な要素について理

・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関

・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風

【知識及び技能】

解している。

	を深めさせる。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統 と文化について理解を深めさせる。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者 などとの関わりについて理解を深め させる。 ・漢字の書の古典に基づく効果的な	(屏風に篆書・隷書・草書の中から 好きな書体を選び、構成を考えて好 きな文字を書体を特徴を基に制作す る) ・半切四分の一看 板作品制作をする。(架空の店の看 板を考え、店のテーマにふさわしい	0	0	歴との関わりについて埋解を深めている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて世解を深めている。 ・漢字の書のではに基づく効果的な表現の技能を享らの書による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・書道Iの学習を構成について構想しているようにた全体の構成についた個性的な表現について構想している。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想している。・・感興や意図に応じたを味わって考えように伝える。・生活や社会について考え、きに伝える。・生活や社会について考え、きに大会について考え、を味わってデ習に取り組むを味力のに受っましまで表している。 【主体的に漢字の書の創造的な素現・鑑賞の学習活動に取り組むりとしている。 ・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	て理解させる。 ・刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。	・彫刻刀での刻し方を知る。 ・アクリル絵具の使い方、色の調合 についてを知る。 ・拓本を採る。 ・拓本の仕組みを知る。	0	0	●刻字 【知識及び技能】 ・刻字を構成する様々な要素について理解している。 ・親解している。 ・線で、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解で、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりに西の文字を深伝について理解を深らしてでででででででででででででででででででででででででででででででででででで
期	●漢字の書の作品制作2 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成する様々な要素について理解させる。 ・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。				●漢字の書の作品制作2 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 ・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風

・と・なさ、を本し、本のに、表し、表し、表し、とのでは、名のでは、名のでは、名のでは、名のでは、名のでは、名のでは、名のでは、名	・大画仙紙へのまとめ方を学習する。・長落款の書き方を知る。・長落款を作文して書く。・作品鑑賞をす	・つ・関・深・能・の【・式る・構・考で・現を【・学・日い漢わ仮め漢を漢技思書によ感想漢えい生代味主主習主日い漢の仮め漢を漢技思書によ感想漢えい生代味主主習主体でである。 第二首 自動 はい	中書の古典に基づく効果的な表現の技では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		0	8
【知識及び技能】 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解させる。 ・仮名の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・仮名の書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解をでいて理解をである。 ・日本の文字と書の伝統と文化につ	・仮名の書の特徴を知る。 ・古今和歌集の古筆の比較鑑賞(関 戸本古今和歌集/高野切古今和歌集 第一種) ・自然を尊重する心を反映した散ら し書きの鑑賞(継色紙/升色紙/寸 松庵色紙) ・和歌を散らし書きで構成し、文字	【・解・わ・現て文い・関・深・能・技【・式て・考て・現を【・学・知仮し仮り仮効い字る仮わ仮め仮を墨能思書にい仮えい生代味主主習主知のである。。 ここの はいり の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	及び技能】 「大きなでは、	0	0	14
3 学期 ●漢字仮名交じりの書の作品制作 【知識及び技能】 ・漢字仮名交じりの書を構成する 様々な要素について理解させる。 ・名筆や現代の様々な表現と用筆・	●漢字仮名交じりの書の作品制作 ・画仙紙半切三分の一に、好きな語 句を意図に応じた書風・用具で制作 する。 ・作品発表をする。 ・近現代の作品鑑賞をする。	【知識及 ・漢字化 についで ・名筆 ⁸	反名交じりの書の作品制作 及び技能】 反名交じりの書を構成する様々な要素 て理解している。 や現代の様々な表現と用筆・運筆との こついて理解している。 字形、構成等の要素と表現効果や風			8 合計

※主 表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。 ・ 日本 及び中国等の文字と書の伝統と文化に ・ 日本 及び中国等の文字と書の伝統と文化に ・ 漢字仮名 交 と りの書の美と時代、 風上、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。 ・ 真の中用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けさせる。 ・ 漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 ・ 漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 ・ 漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 ・ 漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 ・ 漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ 書道 1 の学習を踏まえ、漢字仮名交近りの書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう 優す。 ・ 感興や意図に応じた個性的な表現について 機型し工夫するよう 優す。 ・ 感興や意図に応じた個性的な表現について 機型し工大・アンス・ 世級中で自図に応じた個性的な表現について 機型し工大・アンス・ 世級中で自図に応じた 機性的な表現について 神経し工夫といる。 ・ 漢字仮名交じりの書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるよう。 ・ 生活や社会における漢字仮名を近りの書のようで美しさを味わって深く捉える。 ・ 生活や社会における漢字仮名をじりの書のようで、生活や社会における漢字仮名をじりの書のようで、生活や社会における漢字仮名をじりの書のようで、生活や社会における漢字仮名をじりの書のおかと表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・ 生体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むまうたが鑑賞の学習活動に取り組むもうとしている。 ・ 主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むもうとしている。 ・ 主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な差異・鑑賞の学習活動に取り組むもうとしている。 ・ 主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な差別で発音動に取り組むよう伝える。 ・ 主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な差異・鑑賞の学習活動に取り組むようとしている。
--

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 芸術 科目 書道演習

教 科: 芸術 科 目: 書道演習 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3学年 1組~ 6組

教科担当者: (1組: 梅田) (2組: 梅田) (3組: 梅田) (4組: 梅田) (5組: 梅田) (6組: 梅田)

使用教科書: (書 [(教育図書))

教科 芸術 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道演習

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
広く理解するとともに、書写能力の向上を図 り、書の伝統に基づき、効果的に表現するため	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	たり書を愛好する心情を育むとともに、感性を

			表		表現				П		配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	漢仮	漢	仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
	・書道の三分野と、第書書と、第書書の三分野と、第書書等等すると、第書書等等すると、第書書等等すると、第書書等等すると、第書書等等すると、第書書等等する。との書のの書書を書きまた。日本に、第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	基礎的な知識を身につけさせる。 ③教科書 p 126「書写で学習したこと」や硬筆レッスン帳等を参照し、筆使い、字形、文字の大きさと配列など、小・中学校の国語科書写で学習した内容を確認する。 ④漢字には五つの書体があることを理解させる。 ⑤それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解させる。 (書画カメラ、プロジェクター、		0		0	【知識・技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中・学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的書道の学習に関心を持ち、書道で学習した内容に関心を持ち、書道で学習した内容に関心を持ち、で学習した内容に関心を持ち、この書が、この書が、この書が、この書が、この書の変遷や、との背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に対してい鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	0		0	6
1 学	【知識とは、	①行書の成立過行書を通行書を通行書を通行書を通行書を通行書を通行書を表して、連続での性質を表して、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、				0	【知識・技能】 ・行書の書体や書風と用筆・運筆を表現かりについて理解して理解して明知の。(知典を表現対字と書の要素と表現対字と書の要素と表現対字と書の要素と表現対字と書の要素と表現対字と書の要素と表現対字と書の要素と表現対字と書の要素と表ので、は知識を理解を理解を生かして、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は			0	14
	・用具・用材の特徴と表現効果との 関わり、書体や書風と用筆・運筆と の関わりについて理解する。 ・目的や用途に即した効果的な表現	せる。 ②軸の用具・部分の名前を知る。					【知識・技能】 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、 書体や書風と用筆・運筆との関わりについて 理解している。(知識) ・目的や用途に即した効果的な表現の技能を 身に付いている。(技能)				

	ついて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や用途に即した表現形式、意 図に基づいた表現について構想し工 夫する。 ・生活や社会における書の効用につ	十代紙の色柄を選び、作品を軸に仕立てる。作品を裏打ちし、軸棒・八双の位置と向きを確認して千代紙にそれぞれを貼り合わせる。 ⑤軸の巻き方・扱い方を確認し、理解させる。 (教科書、書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント・DVD等を使用)	O		・書の伝統的な鑑賞の万法や形態について埋解している。(知識) 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。(思考・表現) ・生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(思考・判断) 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書の対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。	0	0		10
	・線質、字形、構成等の民主、 大線で、 大線で、 大線で、 大線を表して、 大線を、 大線を、 大線を、 大線を、 大線を、 大線を、 大線を、 大線を	①楷書の四つの古典の図版に教科書 p14~15)を見て、感じた印象を記 の見て、感じた印象を見て、感じたのので見た。 ②唐の四大家についてをぶ。。 ②唐の立場、代表科書 p50~51)を 政治子、の一点である。 ③孔子しる書でのの点にである。 鑑賞のあ意識では、ののでは、 ののでは、ののでは、 ののでは		0	【知識・技能】 ・構書の書体や書風と用筆・運筆を表明期間では、実施では、表現文で、共和の要素と表現文で、共和の要素と表現文で、共和の要素と表現文で、共和の要素と表現文で、共和の要素を表別では、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな			0	12
学期	【知識及び技能】 ・ 選筆との関わりに、	②至性の 一 解 理 、 基 得正意 仮名を	0	0	【知識や書との関わりについい。 ・規範を書いる。(知識・選筆との関わりについい。 ・規質を書いる。(知識・選等との関わりの成立、構成等の字ととの関わり、立、のでは、 ・規定の関わり、立、解しては、 ・のでは、 ・のでは、 ・のでは、 ・では、	0		0	18

●創作する(漢字仮名交じりの書) 【知識及び技能】・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。・線質、字形、構成等の要素と表交じり文の成立について理解する。・自的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質にあ表現の技能を身に、表現力等】・漢字と仮名の調和した非別が大表現力等】・漢字と仮名の調和した非別が大表現力等】・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成します。と考えて作品のイメルジを考えて作品のイメルジを考えて作品のイメルジを考えて作品のでいて表現、名類を生かした表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現では、自的や用法にいた表現、名第を生かした表現では、自動造された企業の表現効果についた表現、名第を生かした表現では、自動造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書しさを、・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書して表現を工夫し、落款を入れることを理りません。。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書して表現を工夫し、落款を入れて作品を仕上げる。 ⑤作品を発表し合い、学習の成果について提える。 【学びに向かう力、人間性等】・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。 3学期 「対域の大学である。」「学びに向かう力、人間性等」・中域に対して表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知識・表現)・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立についる。(知効果・鑑賞している。(知効果・診を身につけている。(技能) 【思考・と版名の調和した字形、文字の大きさ、も関に生きの構成、日もの表現、文字の大きさ、意理に生きる。・創造された表現についる。で、表現いる。された作品の価値とその根拠、生活や社会における書がいた表現にいる。 【主体的に学習に取り組む態度】・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞) 66
---	--